

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	12-8	
PDCA	主要事業名		商業施設助成事業		部課名		市民経済部産業課			担当	片山	
											内線	321
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 4 単位施策： 商工業											
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 12,000 千円											
	会計		一般会計			歳出科目： 06.01.02.08.50						
	事業概要等		都市が郊外化したことにより、中心市街地をはじめとする既存の商業地域の衰退が進み事業概要： つつあるなか、魅力ある個店の展開を支援することで、商業の活性化と市民生活の向上を図るため、商業施設の内装工事にかかる費用を補助する。									
			事業目的： 持続可能な商業振興を目的として、計画的に地域に必要とされる業種を配置することで、魅力ある個店づくりを支援する。									
			事業内容： 商業施設（店舗）の新設・改装費の2分の1を補助する。									
			問題点・課題等： より効果の高い事業実施のため、対象業種や対象区域の見直しを検討する余地がある。									
	予算額		主要事業とする理由									
	12,000 千円		財源内訳 市費 3,125 千円 国費 6,000 千円 県費 2,875 千円 その他 0 千円									
	財源内訳											
市費												
国費												
6,000 千円		得られる成果										
県費		商業集積が進むことで持続可能な商業の振興に繋がる。また、魅力ある個店が増えることにより、商店街が活性化しコミュニティの担い手として住民向けサービスが向上する。										
2,875 千円		目標値や目指すべき状態				令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位			
その他		①補助金の交付件数/交付額		実績値	6(6,500)	11(8,750)	—	件	(千円)			
				目標値	10(6,500)	11(10,000)	12(12,000)	件	(千円)			
				実績値								
				目標値								
0 千円				実績値								
				目標値								
D 得られた成果と	決算額		得られた成果									
	3,453 千円		中心市街地（出店促進エリア）2件、商店街エリア3件の事業者に対して施設整備費、改装費を補助したことにより、魅力ある個店の展開につながった。									
			成果指標						令和4年度	単位		
	①補助金の交付件数/交付額				実績値	5(3,453)		件	(千円)			
					目標値	12(12,000)		件	(千円)			
C 課題の整理	事業の評価・課題		C 令和4年度は、物価の高騰や原材料の品不足、コロナの先行き不透明感等の影響を受け、申請数が見込みに対して少ない結果となった。今後は、コロナが緩和したことにより経済活動が活発化していくことを見込み、中心市街地（出店促進エリア）を意識し、予算額100%執行に向けた更なる情報発信、不動産事業者へのPRなどを行っていく必要がある。									
A 課題解決の方向性	今後の事業の方向性		拡充推進 引き続き、積極的な制度活用を促し、中心市街地出店促進エリアを意識した経済活性化を図っていく。また、商工会議所と定期的に情報交換を行い、状況に応じて現行の補助要件の見直しを行っていくなど、戦略的な商業施設整備のために制度を運用していく。									
	観点別評価		必要性		有効性				効率性			
			①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい		⑦コスト削減	ない			
			②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		余地				
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		⑧受益者負担適正化余地	ない				